



俺の夏休みは

若女将

ギョウ

とバイト
生活!?

16
ぺい

Ore no Natuyasumi ha Gal no
Wakaokami to Baito Seikata!?



でも西倉くんが
どうするかは
私の責任やないし…

あの時の
言葉…

もしかして
西倉くんが
受け入れて…?



きんきんきん…!

きん

なんで二人が
ここであんな
ことを…?



きんきん…♡



きんきん…

やっぱり一緒に
行っていいよなんて
言うんじゃなかった…





はー♡

わ…私も…

はー♡

もう
イッチャイソウ…♡



んっ

あ…♡

んっ

奥まで…
来ちゃってる…♡



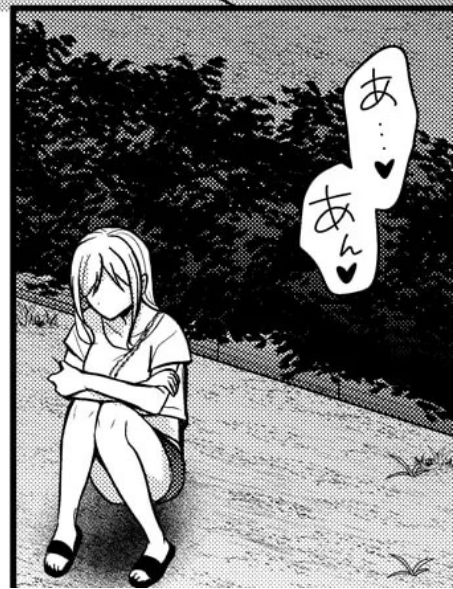
ね…?

…っ
ビク
ビク



雪音に西倉くん
とっかわちやっ…

んっ
んっ
…んっ



あ…♡
あん♡



でもそんなの
嫌だよ...

ねえ...

やつぱり
ほのか
穂香やなくて
私じゃダメかな...?



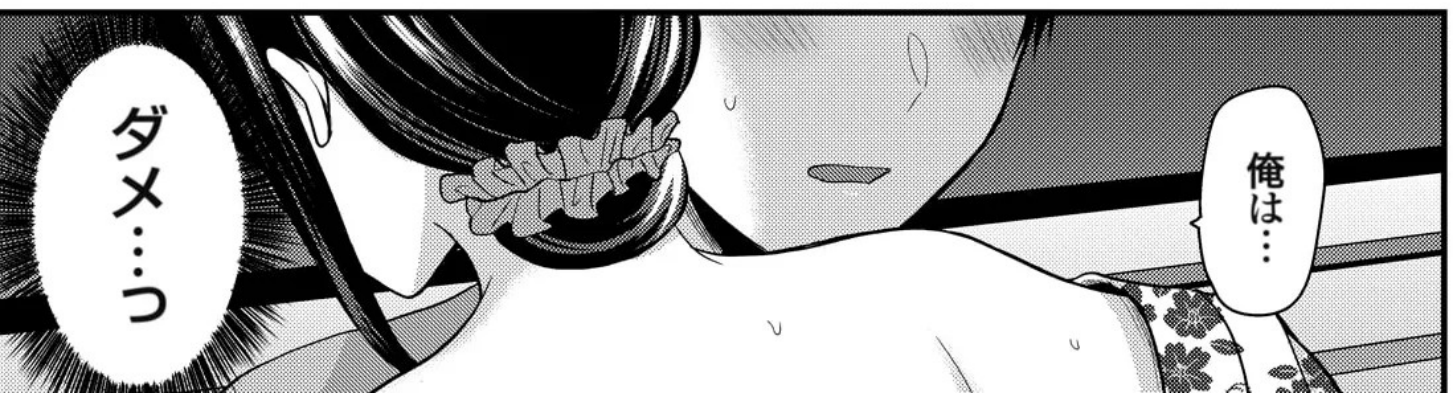
ダメ...



お願い...

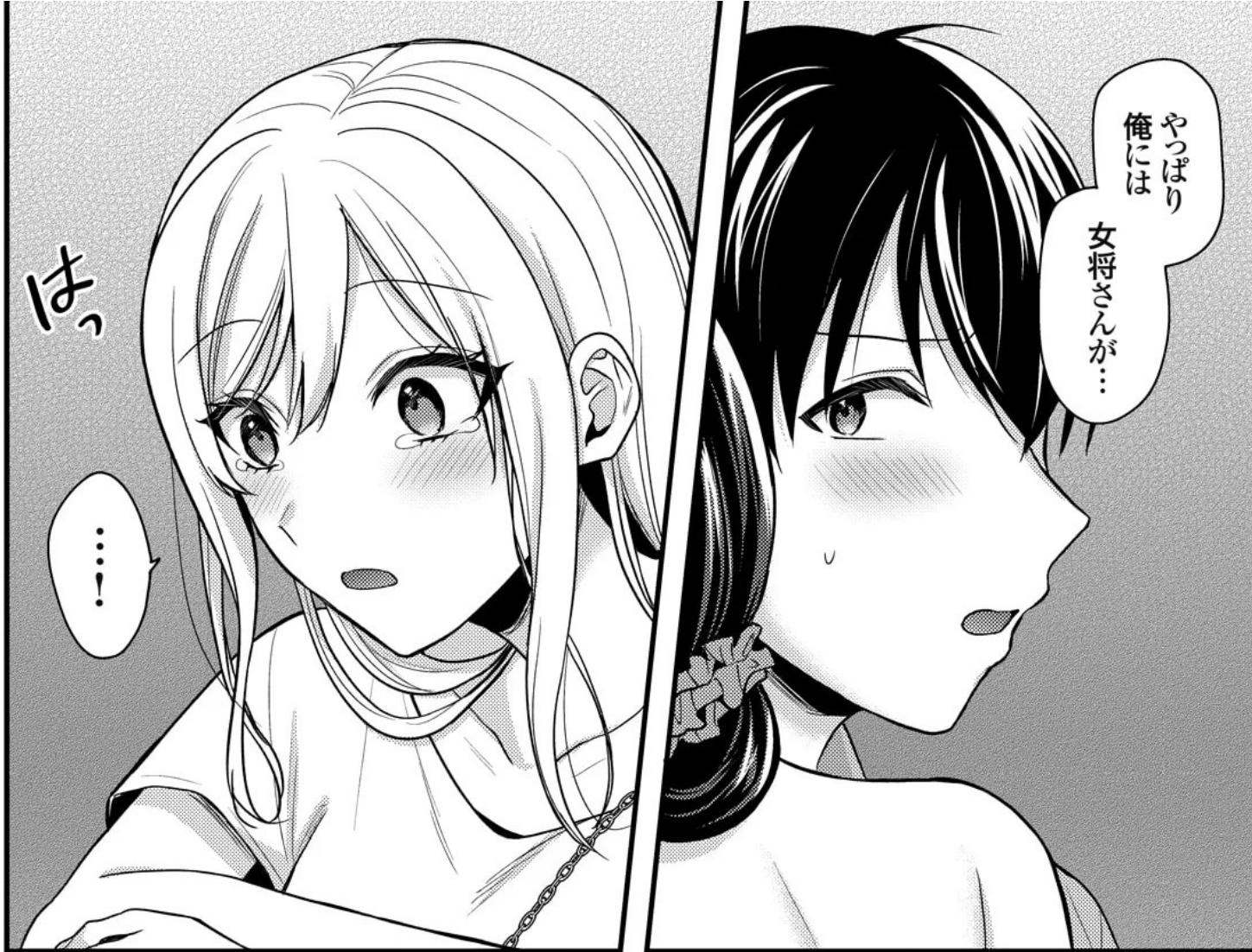
なか
膛内に
出していいから...

雪音...さん...

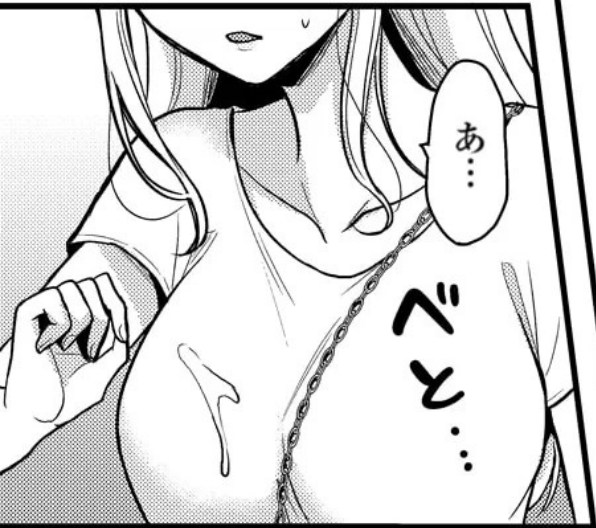


俺は...

ダメ...っ







ゆ…
雪音…

西倉くんに変なこ
しないうて言ったのに
どういふこと!!?



どういふつもりも
何も自然の流れで
こうなっただけやよ?

嫌なら
取り返して
みたら?



かしっ

お…
女将さん!?

……っ



女将さんの
舌が…

はぁ

はぁ

…っ！

はぁ
はぁ

気持ちいい
とじんを
責めてくる…っ

はぁ
はぁ
はぁ



雪音よりも
気持ち良く
させてあげる…♡

はぁ
はぁ
はぁ



はぁ、大きく
なってきた…
気持ちいい…っ



んんっ!!
はぁ
はぁ
はぁ
いま手で
擦られたら…っ





何勝手に
割り込んで
きてんのよ!?

ん...♡
ん...♡

ちゃぽっ
ちゃぽっ
ちゃぽっ



ばっ

あたし
だつて...っ



最初に
割り込んできたのは
穂香の方やろ?!

ねろ♡
ねろ♡

~~~~~  
ッ



は  
む

!?





穂香…

え…？



これ以上は  
もう…っ



ちよっ…  
何勝手に  
脱がして…っ

このままじゃ埒が  
あかんのわかるやろ？



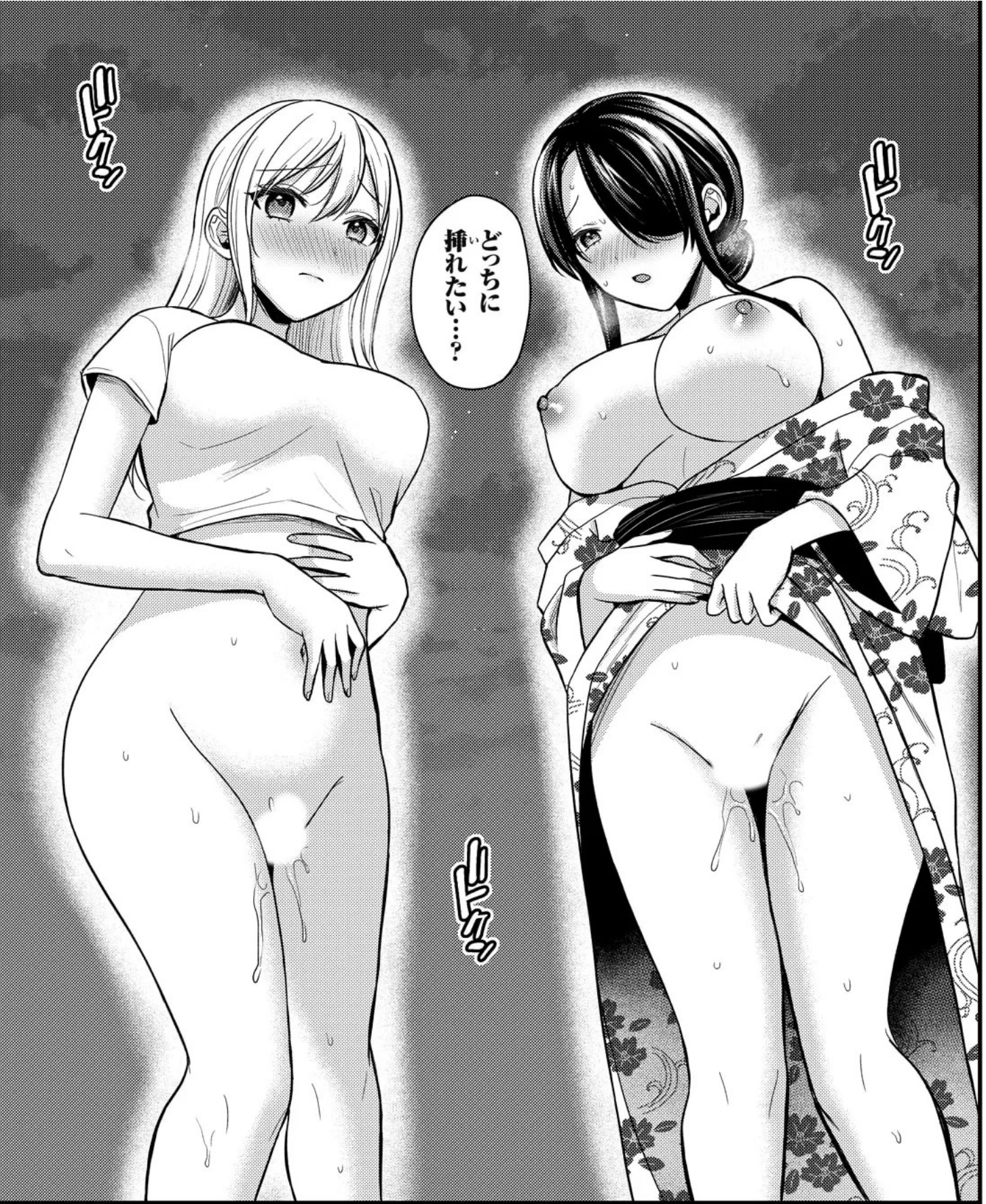
あんたも限界  
なんやろ？

ひゃっ！



だからここから  
先は西倉くんに  
決めてもらうの

すっ



どっちに  
挿れたい...?



え...?



すみません  
雪音さん…

雪音さんが俺のことを  
想ってくれているのは  
嬉しいけど…

でも…

それは…



やっぱり  
俺…  
女将さんのことが  
好きなんです

あ…



嬉しい…



...

ひん



あ...

ひん  
ひん...



ん  
ん  
ん

ひん  
ひん  
ひん



挿れて...?

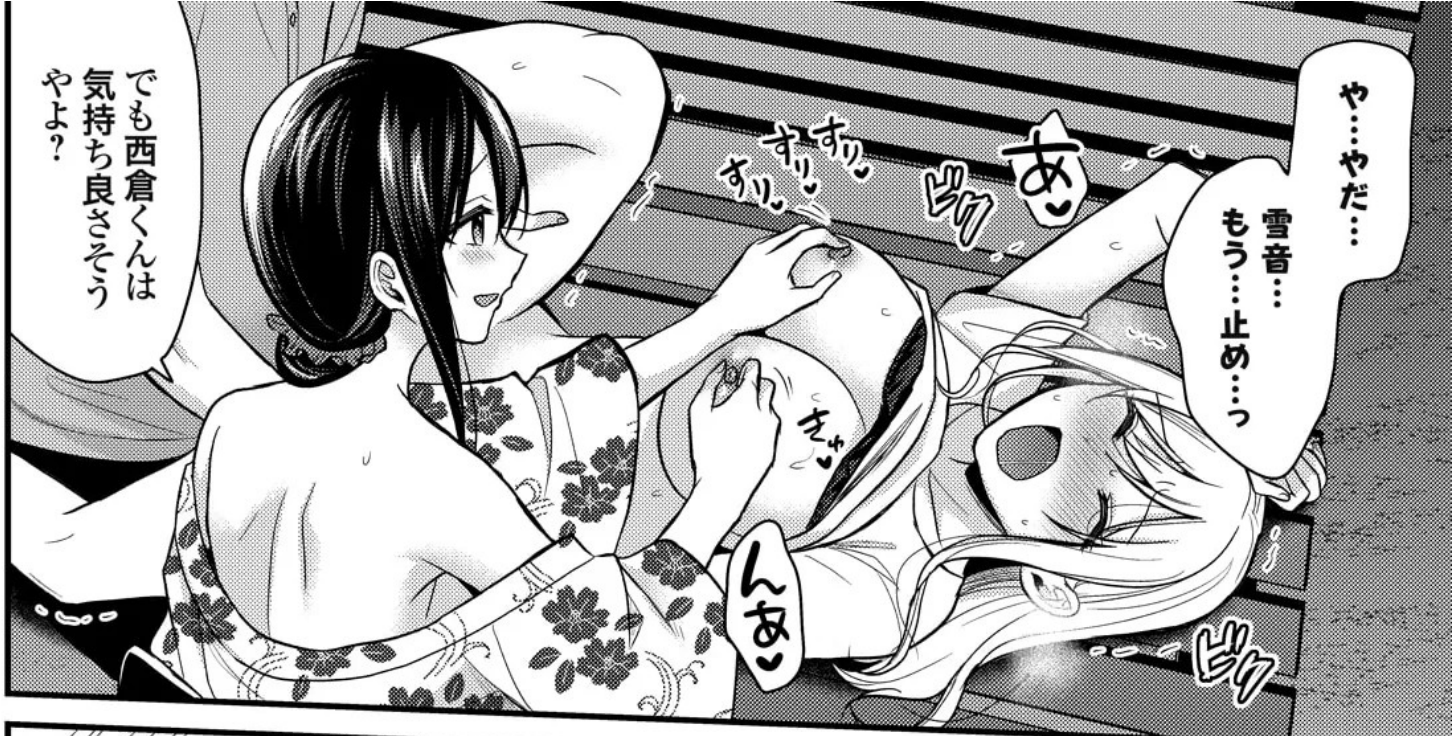
ひん

ひん

ん  
ん  
ん







や...やだ...

雪音...  
もう...止め...

でも西倉くんは  
気持ち良そう  
やよ...



すみません...  
俺...もう...



穂香も一緒に  
イツチャえ♡





この作品はフィクションです。  
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を  
無断転載・複写・複製・配信  
送信（ホームページ上への転載を含む）  
アップロード・デジタル化することを禁止します。  
また本作品の内容を無断で改変・改ざんを  
行うことも禁止します。

forCS



俺の夏休みは

Gal

のワカオカミ

とバイト生活!?

17

Ore no Natuyasumi ha Gal no Wakaokami to Baito Seikatsu!?

ぺい



花火大会から  
数日後……

短い間でしたが  
お世話に  
なりました

まっ  
バイト期間が  
終わっても

別にここに来ちゃ  
いけないって  
わけでもないし

また遊びに  
来るわ

あんたには  
振り回されっぱなし  
だったけど

一応旅館の仕事は  
ちゃんとしてくれてたし  
ママの代わりに伝えるわ

手伝ってくれて  
ありがと……

……  
雪音

またいっつも  
来てや



それに…

ぎゃ♡



どういたしまして

お小遣い稼ぎもできたし結構楽しかったよ?

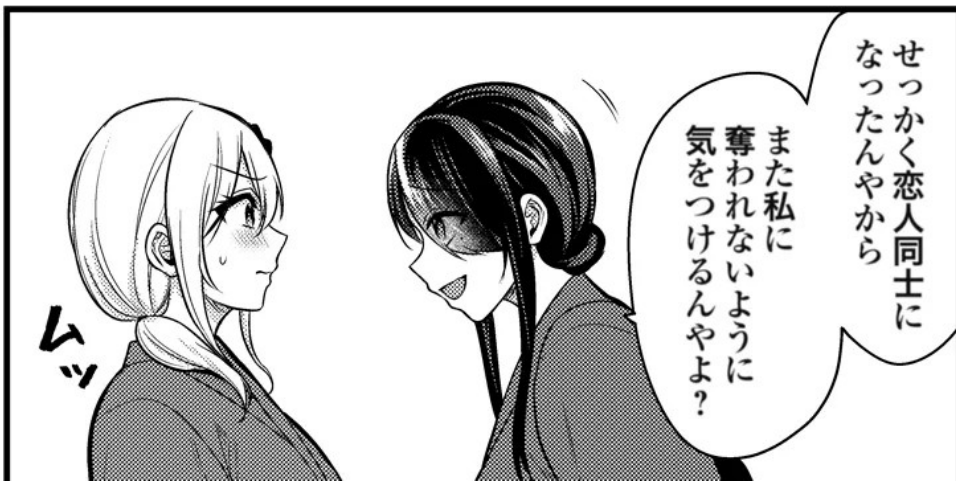
きる。



ぎゃ♡

私のこと 忘れないでね?

ゆ…  
雪音さん…



また私に奪われないように気をつけるんやよ?

ムッ



雪音!  
何してんのよ!

冗談だってば



俺たち恋人同士になっただんな…



絶対そんなことさせないから!!

…そっか



んん  
疲れた…



俺も夏休みの間だけだから

なんだかんだあと半月ぐらいか…

ん？



いろいろあったけど明日から雪音さんがいないって思うと少し寂しくなるな…



な…なんか恋人同士に  
なったって意識すると  
急に緊張してくるな…

ドキ  
ドキ

…えっと…  
二人きりになるの  
久々な感じしますね

そうだね、  
ずっと雪音に  
邪魔されて  
ばっかだったしさ

それに  
西倉くん…

ん…

カ  
ウ  
ッ

すぐ流され  
ちゃうんだもん

冗談冗談！

でも  
お詫びに…

すみません…





あ…っ

ドクン  
ドクン



はあ…っ

はあ…っ

少しだけ…  
ね？



はあ

はあ

……

ドクン

ドクン



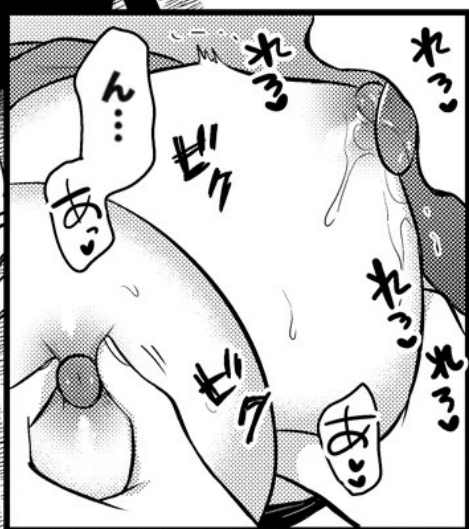
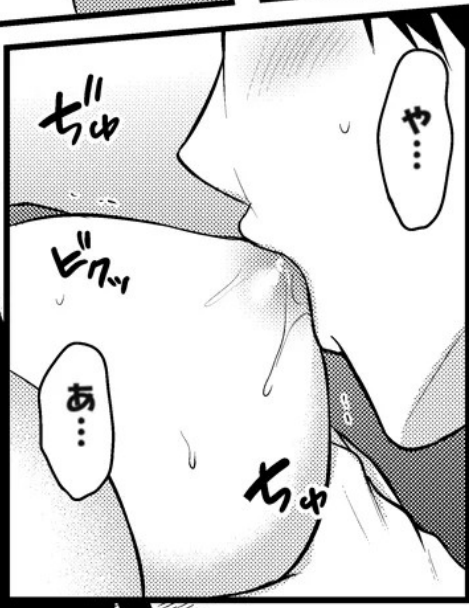
ドクン

あ…明日  
朝早いから…

ドクン

ドクン







女将さん今日  
すごく反応  
いいですね

かたかた



…っ！

わ…  
パンツ越しても  
すごい濡れてる…

ぬる…



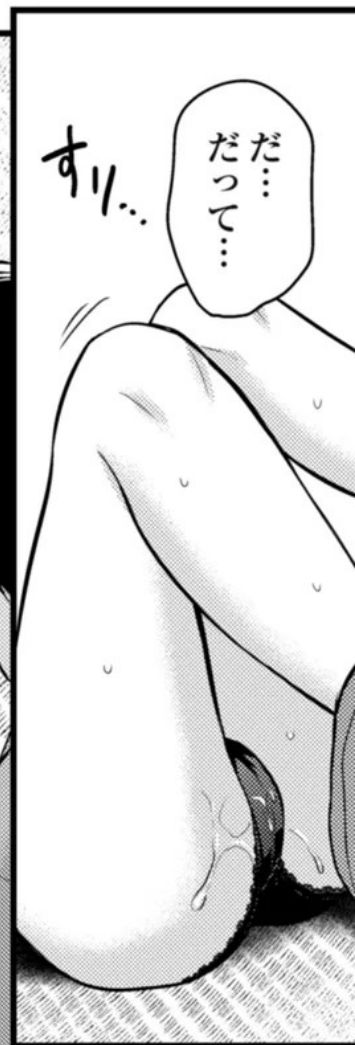
すっ

んっ



雪音みたいにもう少し  
したら西倉くんも  
いなくなっちゃう  
のかなって思ったら

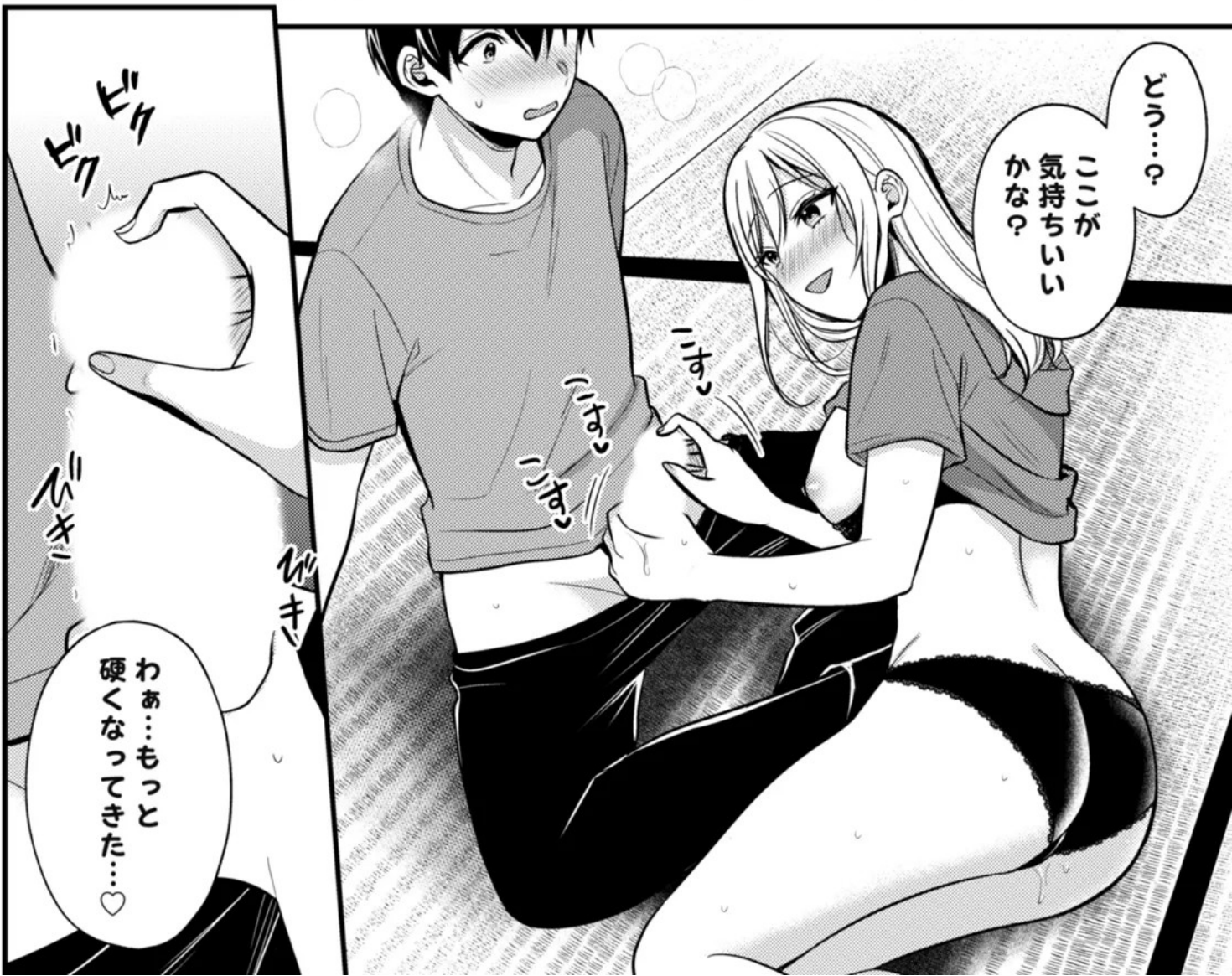
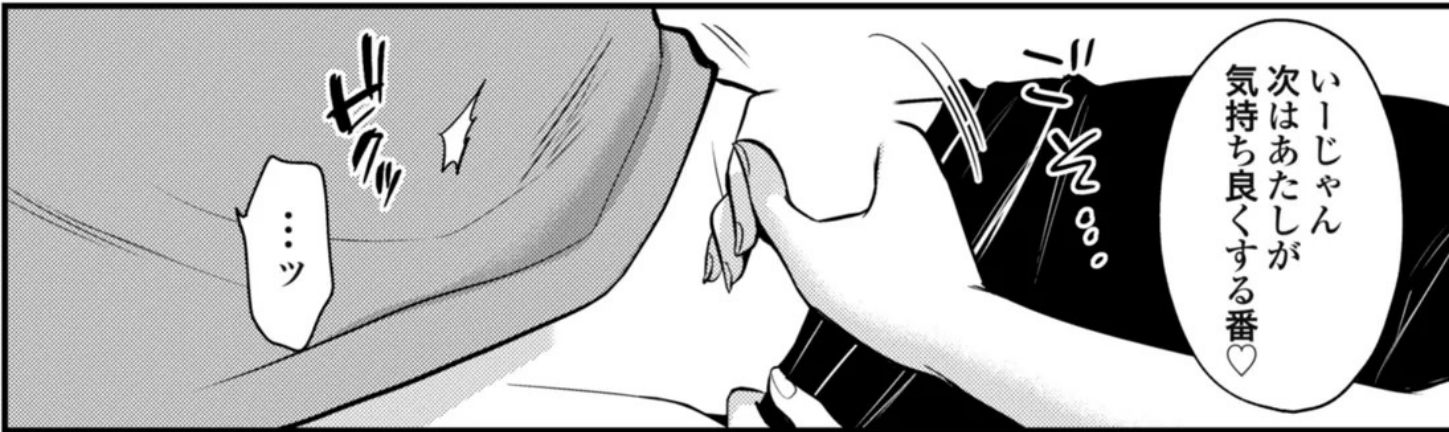
寂しく  
なっちゃったん  
だもん…



すり…

だ…  
だ…  
だ…







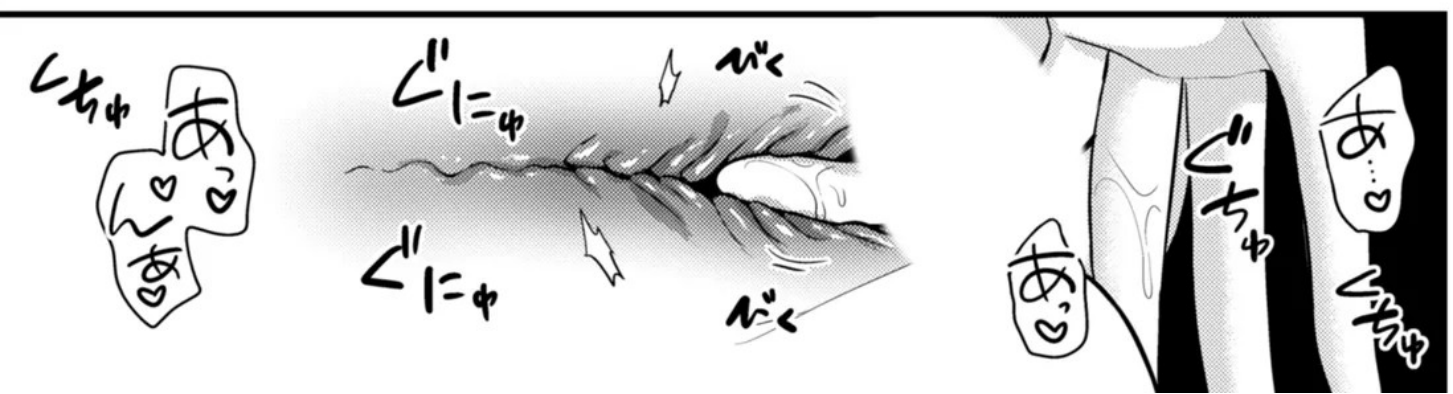
女将さんも一緒に...



く...  
このままじゃ俺だけ先にイキそう...っ

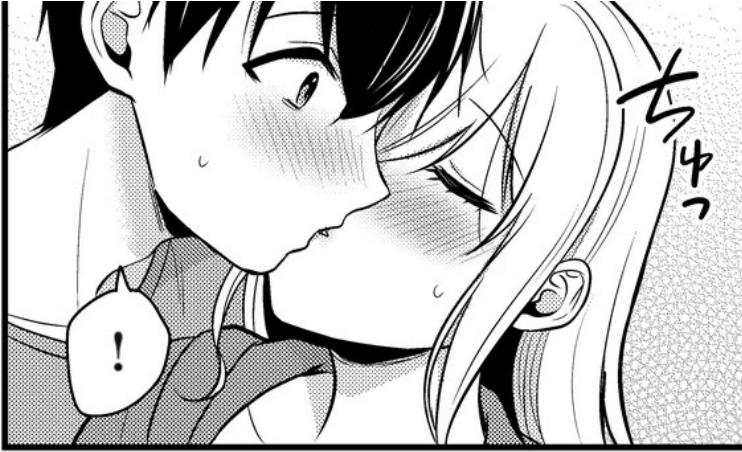


そんなの...  
かっこ悪すぎる...っ









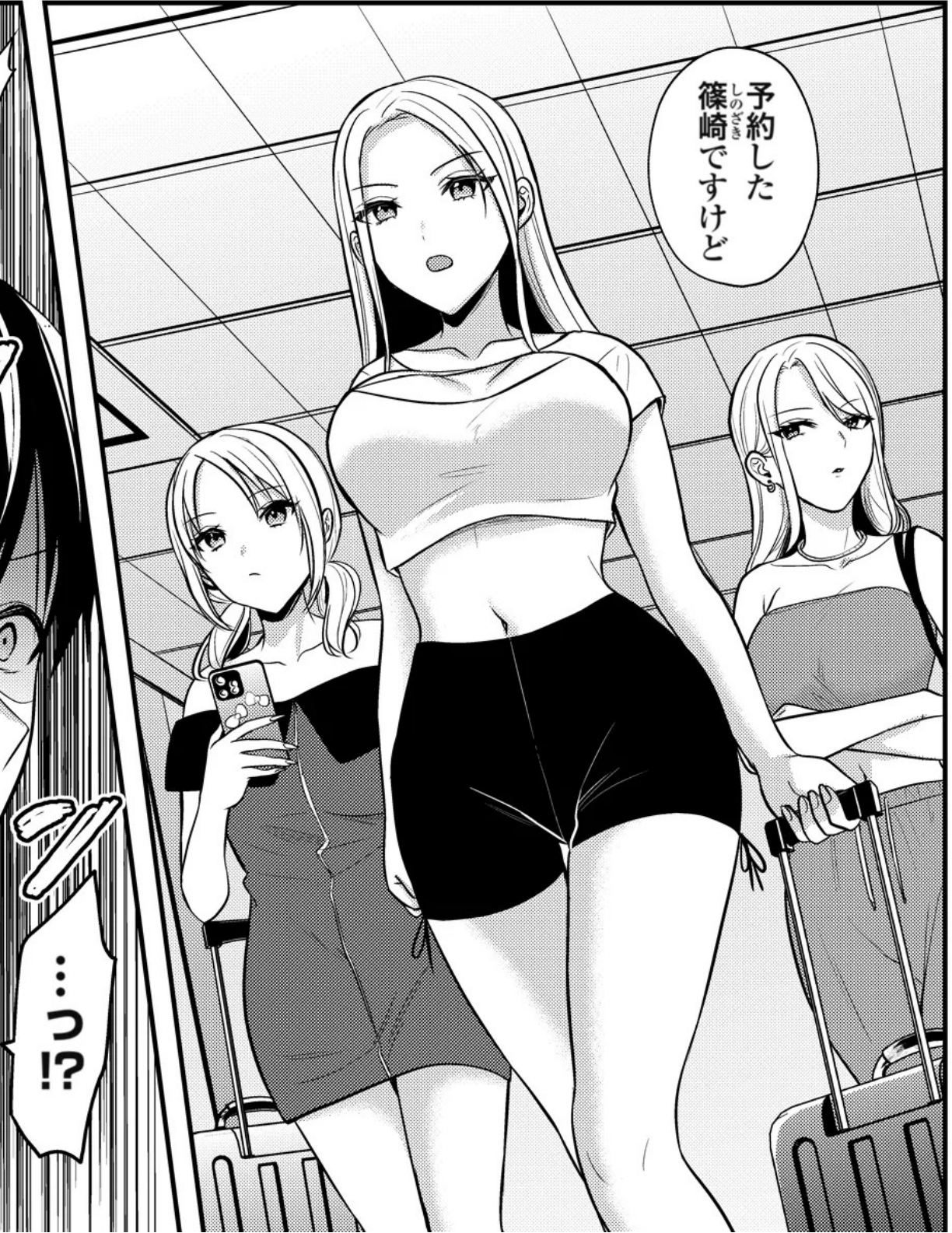
17日 15時~  
篠崎 美紀 様  
お部屋  
この名前  
見覚えが…  
あれ…?  
あのー…

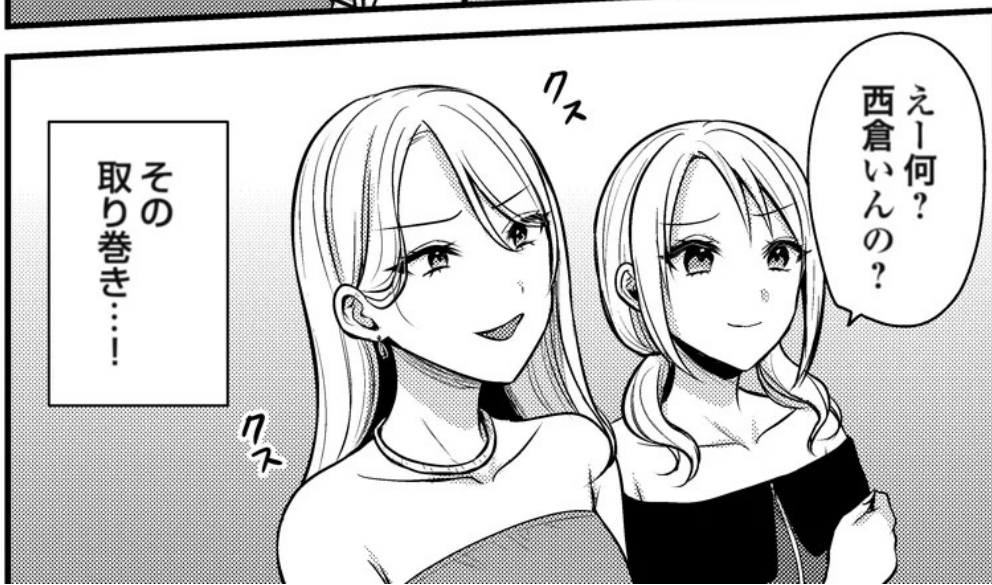
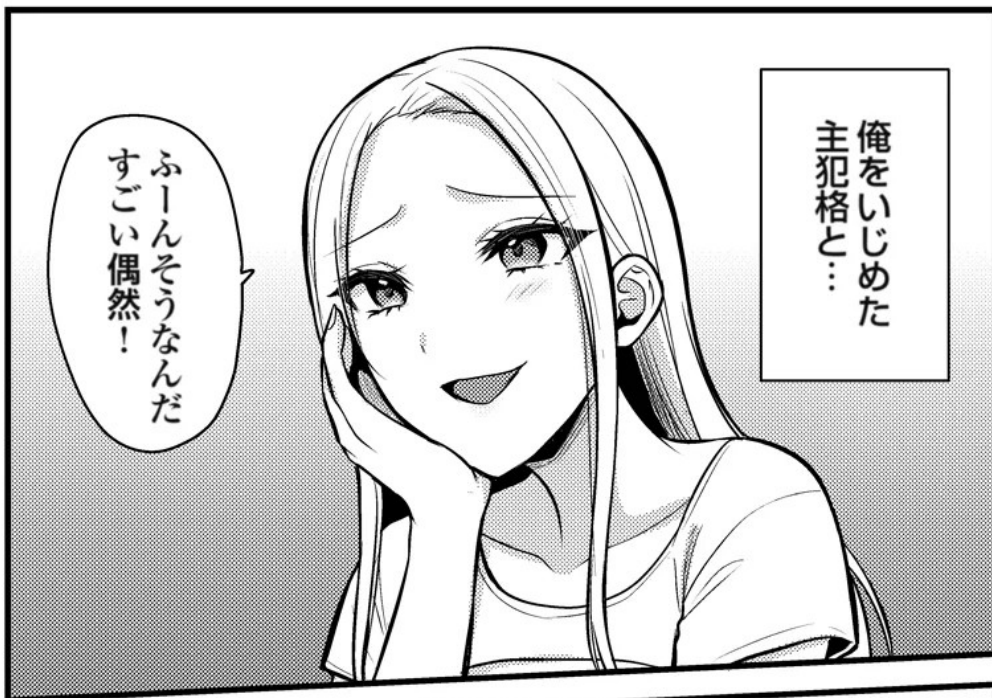
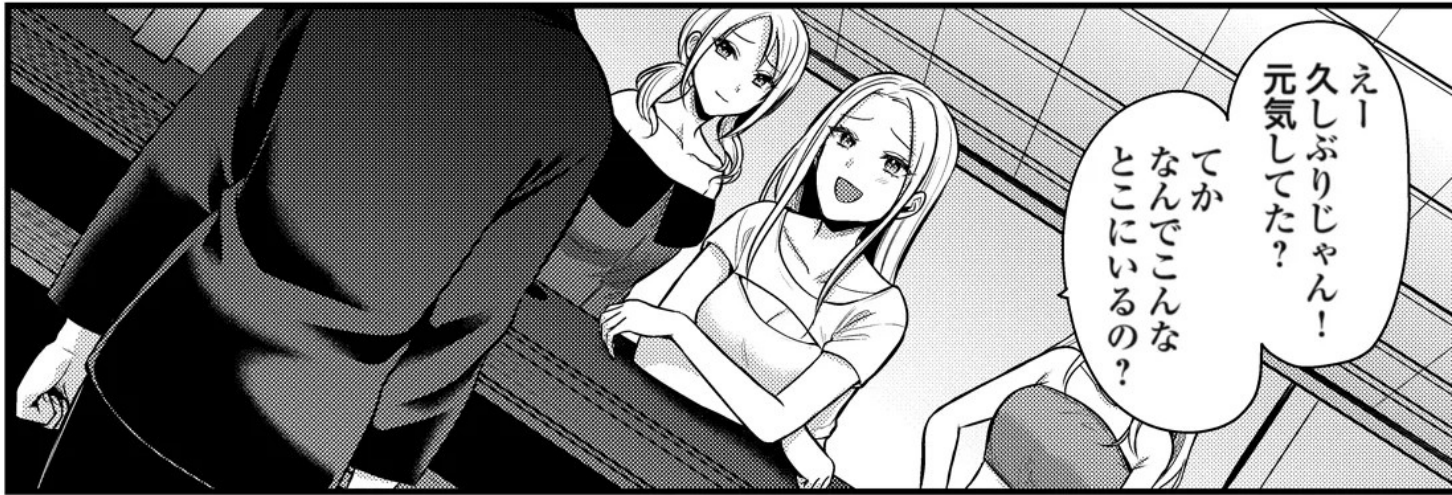
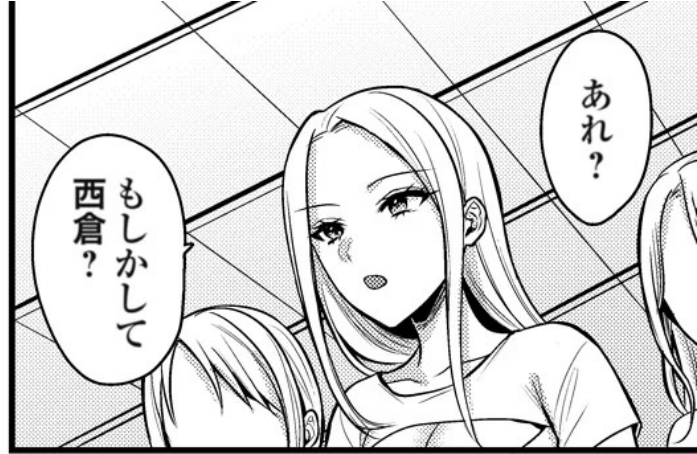


5組か…  
えっと  
予約名簿は…  
ソム…



予約した  
しのだま  
篠崎ですけど  
…!!?







気持ち悪い…

いらっしやい  
ませ〜



いや…  
それは…

せっかく久々に  
会えたんだし  
バイト終わったら  
うちらと遊ぼうよ〜



こいつら昔のこと  
忘れてるのか？

それとも  
わざとか？

あ…まずい…



こちらにお名前  
お願いしま〜す

えっ  
女将さんうちらと  
同じぐらい若くない!!

実は女将代理  
なんですよ〜



ここの旅館の  
女将です〜



ふん…



動悸と  
気持ち悪さが  
治まらない…



女将さんが  
来てくれて  
良かった…  
でもまさか  
あいつらが  
泊まりに  
来るなんて…



でもここで  
逃げたら  
ダメな気がする



せっかく女将さんが  
俺のためにトラウマを  
克服させてくれたんだ

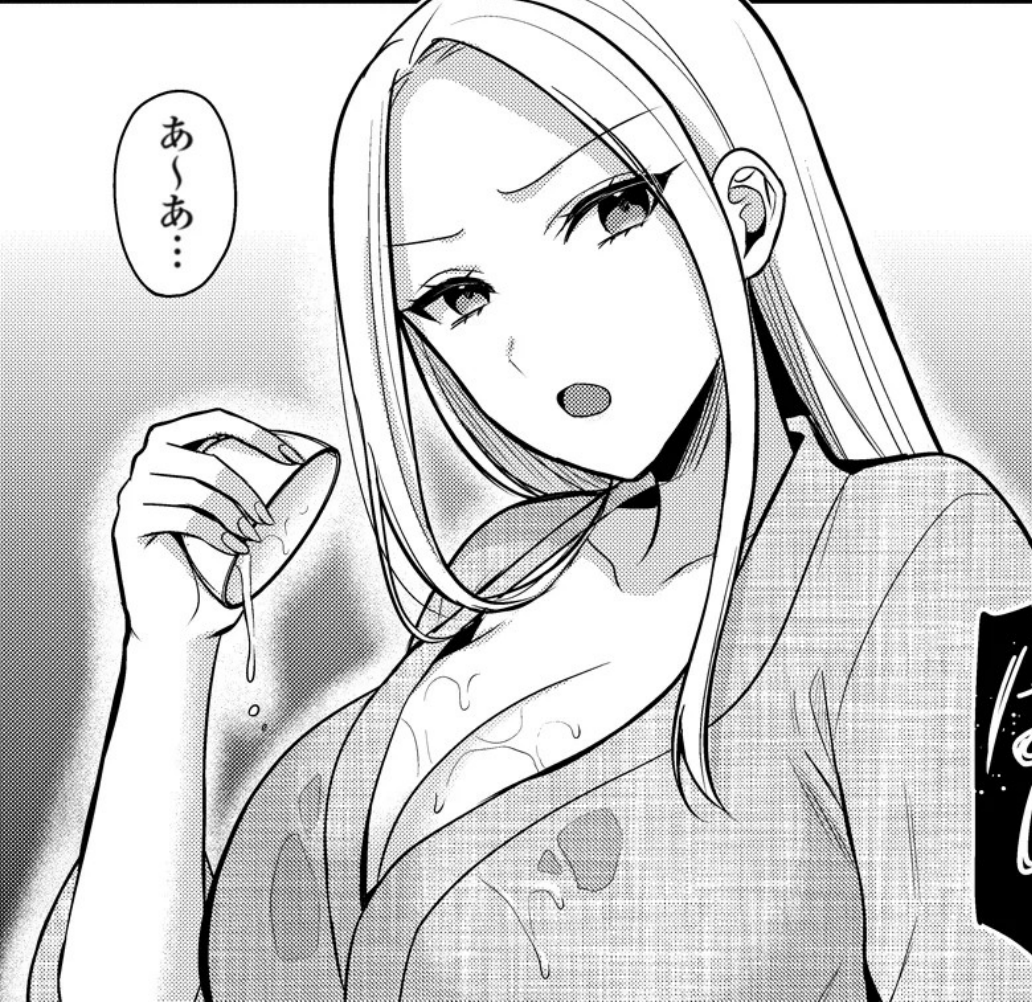
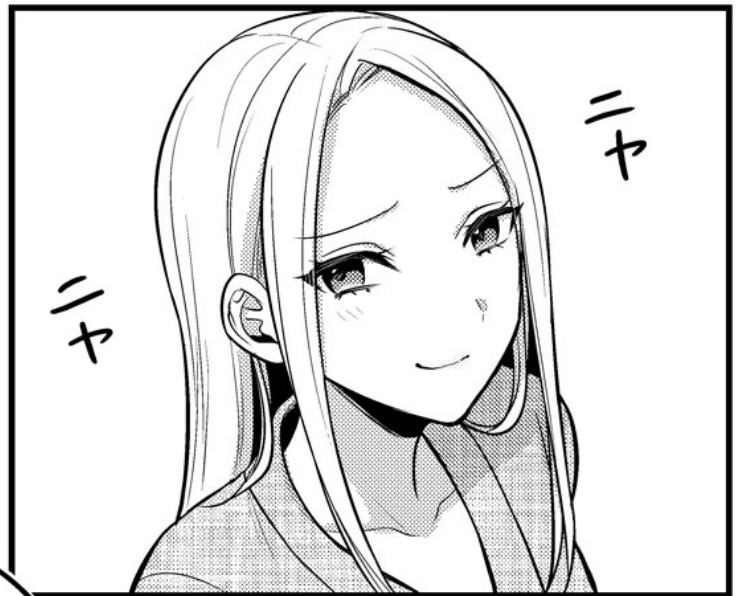
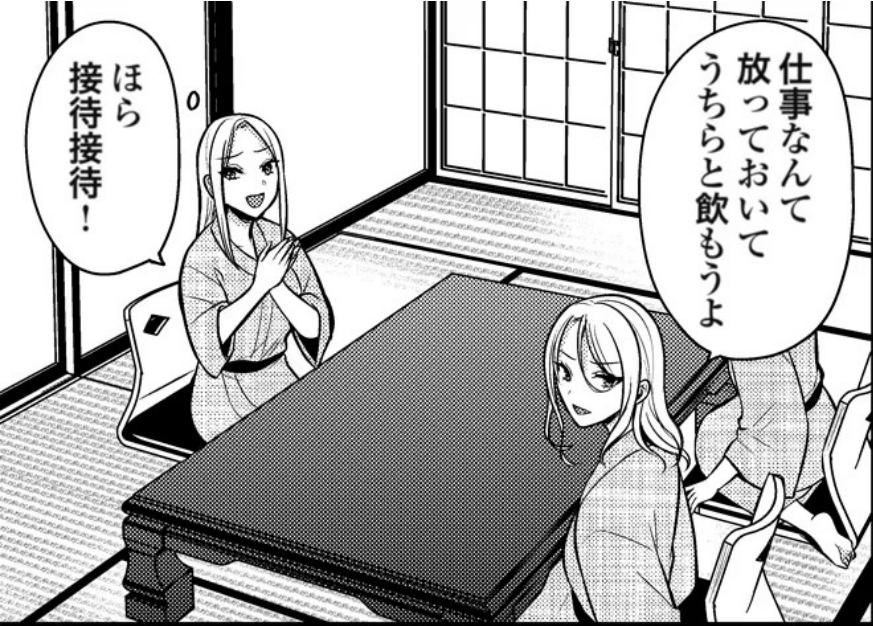


俺はあの時とは  
違うんだ!!

—失礼します



…よしっ



おしや





なっ!!



ほら  
もっとうー!

ぐにゅ  
ぐにゅ  
ぐにゅ



何?  
あたしの胸触れて  
嬉しくないわけ?



ドク

……っ

ふー

ドク  
ドク



ほらちゃんと  
拭いてよ

にゅ

ぎゅ  
ぎゅ

にゅ

拭き終わったら  
俺は仕事に  
戻るからな…

はあ？

イマ…

何それ  
この状況で何も  
しないってわけ!!

ニヤ…

…そうだ

あんたが  
興奮してるか  
確かめてあげる♡

ムキムキ

!?

この作品はフィクションです。  
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を  
無断転載・複写・複製・配信  
送信（ホームページ上への転載を含む）  
アップロード・デジタル化することを禁止します。  
また本作品の内容を無断で改変・改ざんを  
行うことも禁止します。

forCS



俺の夏休みは

若女將

ガルの

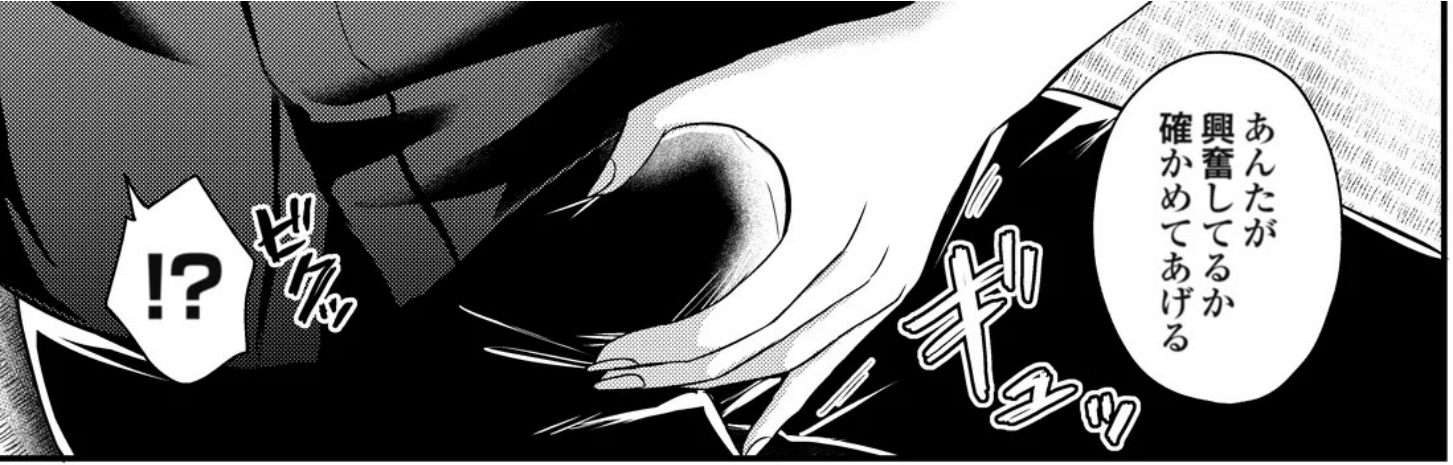
バイト  
性生活!?

18

Ore no Natuyasumi ha Gal no Wakaokami to Baito Seikata!?

ぺい





あんたが  
興奮してるか  
確かめてあげる

!?

ビクッ

ギョッ



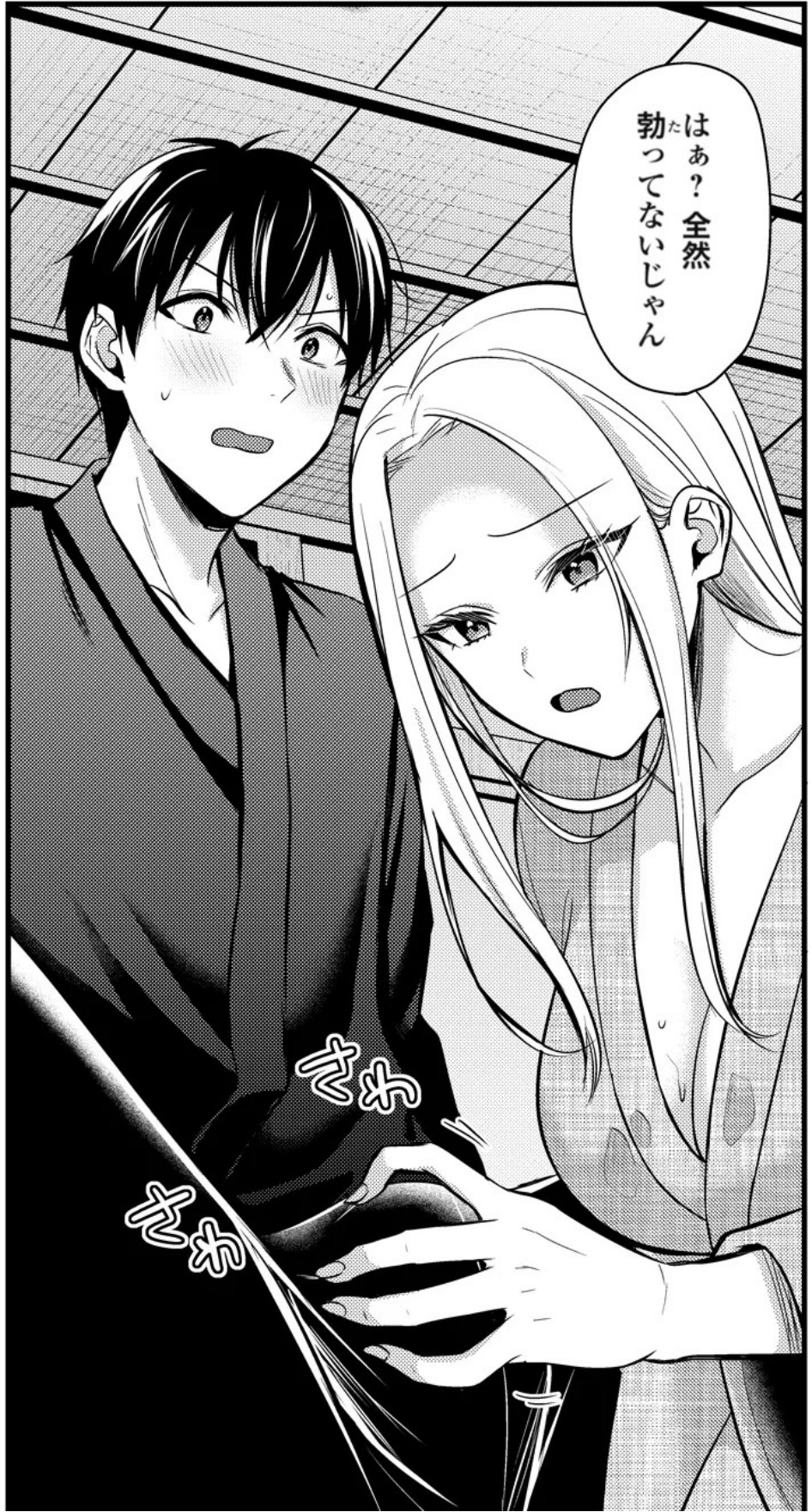
意味  
わかんない

や...



あはっ何その  
弱々しい声  
ウケる

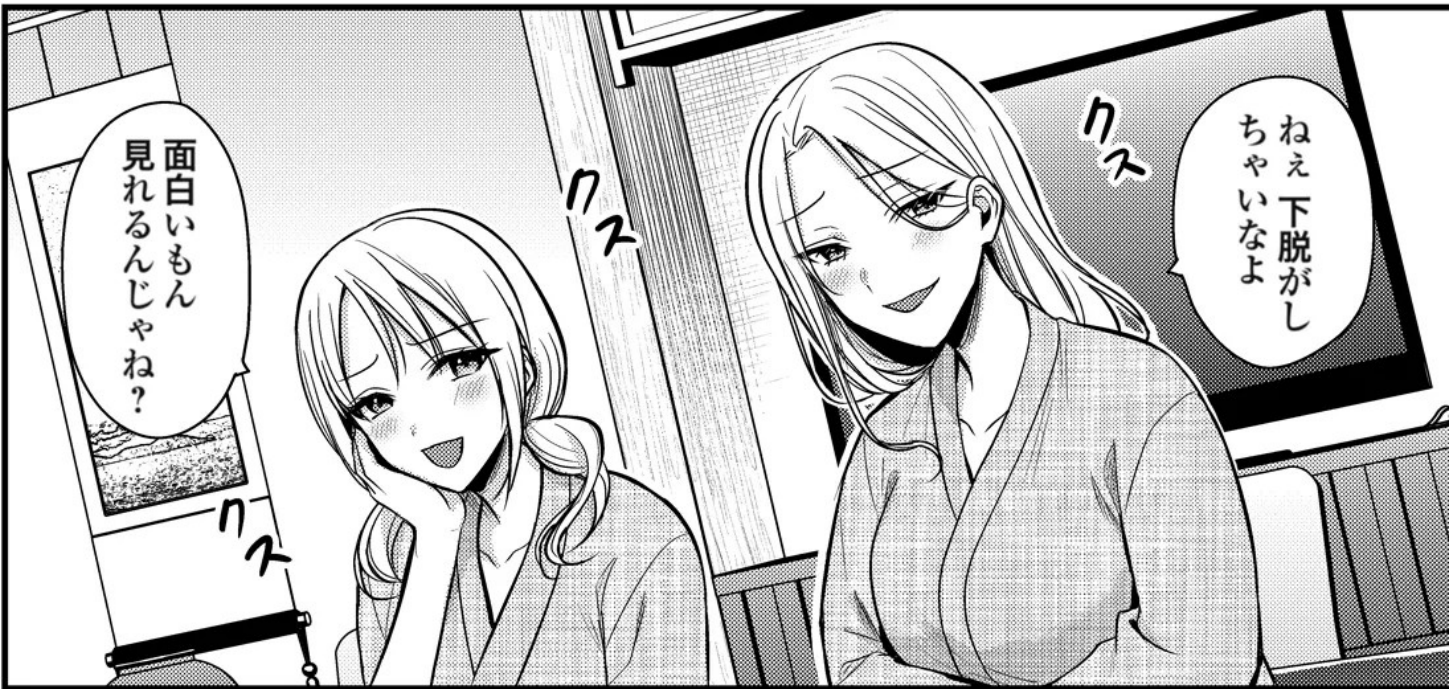
やめろ...っ



はあ？全然  
勃ってないじゃん

せめ

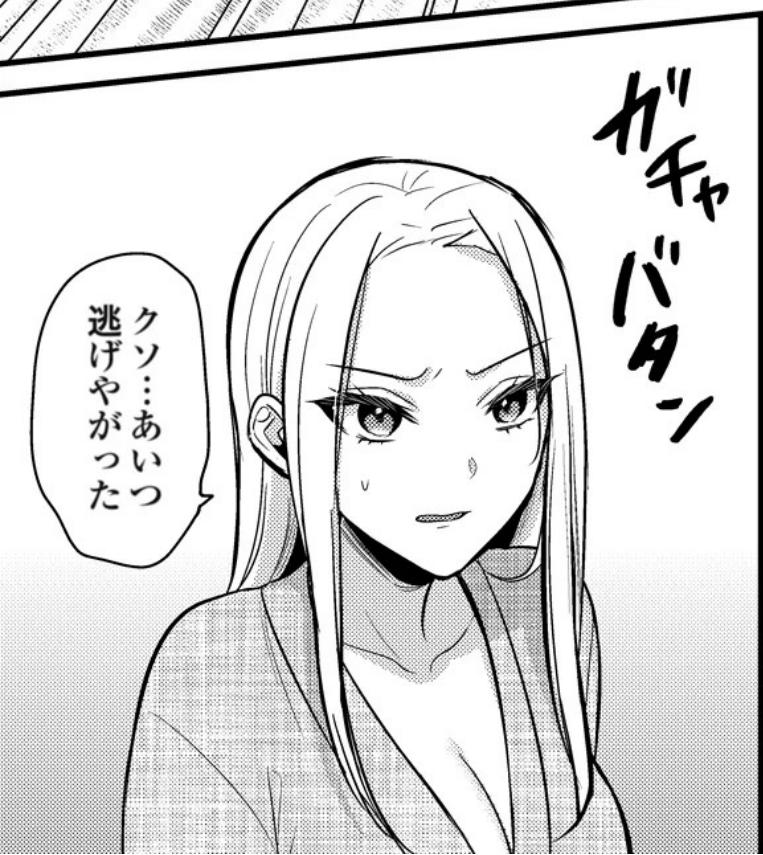
せめ





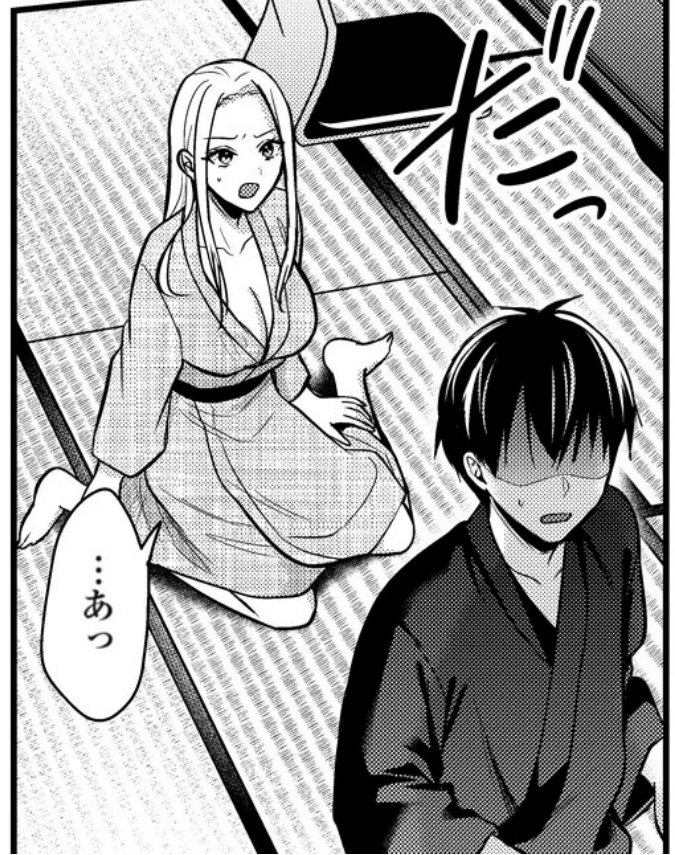
やめろって  
言ってるだろ!?

キヤッ



ガッ  
キヤ  
バタン

クソ...あいつ  
逃げやがった



...あつ





体調悪い？  
それとも  
何かあったの？

じ…  
実は…



あ…お…  
女将さん…

走って戻って  
きたから  
気になって…

…って大丈夫!!  
顔真っ青だよ?



え…!?

あのお客さんが  
西倉くんの  
トラウマの原因…!?



あのお部屋の担当  
あたしが変わろうか?

…



そうだったんだ…  
まさかあの  
お客さんが…

はい  
本当に偶然  
なんですけど



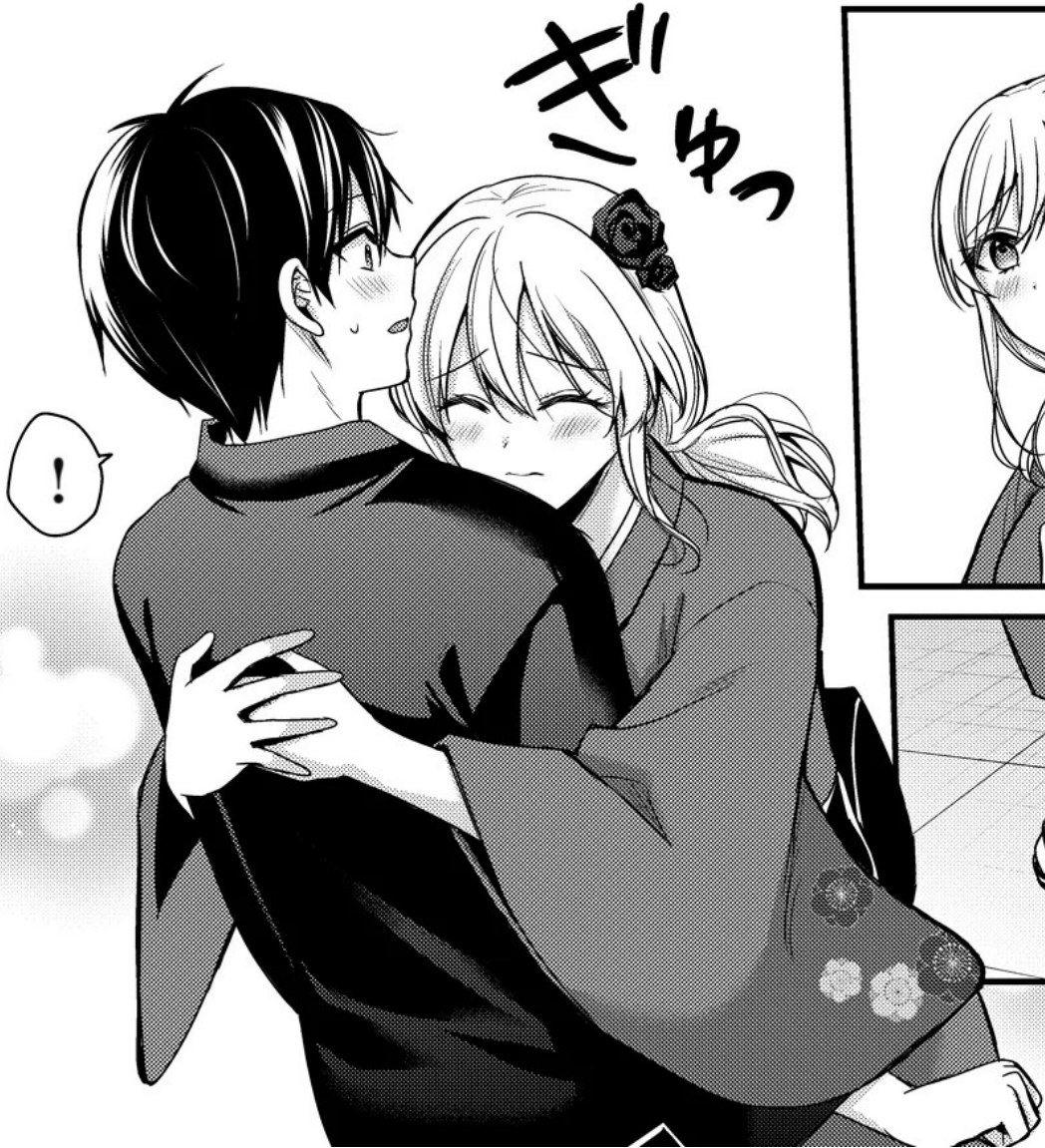
いま逃げたら  
何も変わらないと  
思うんです

せつかく女将さんのお陰でトラウマが克服できそうなのに



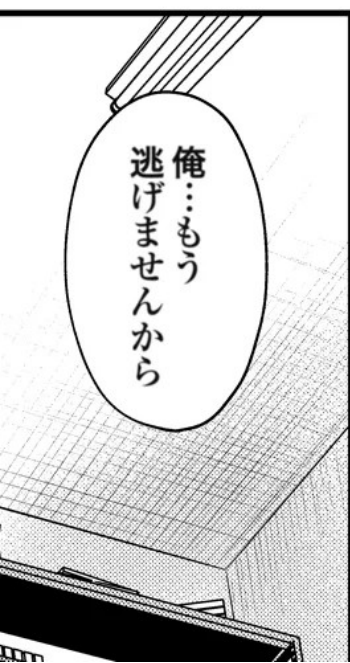
女将さん  
ありがとうございます  
ございます

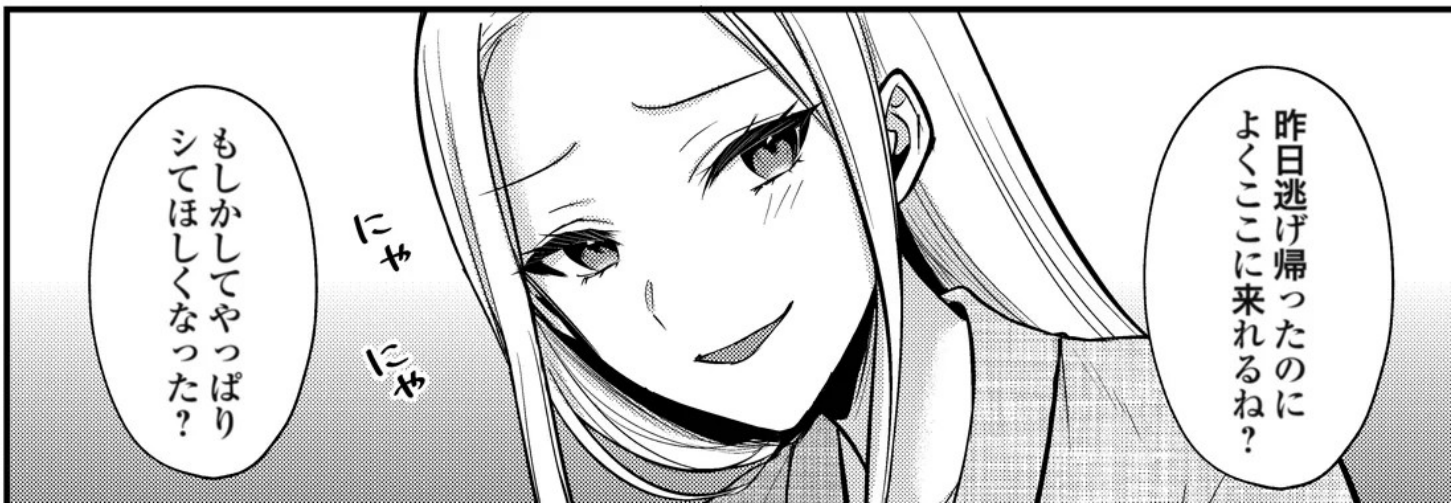
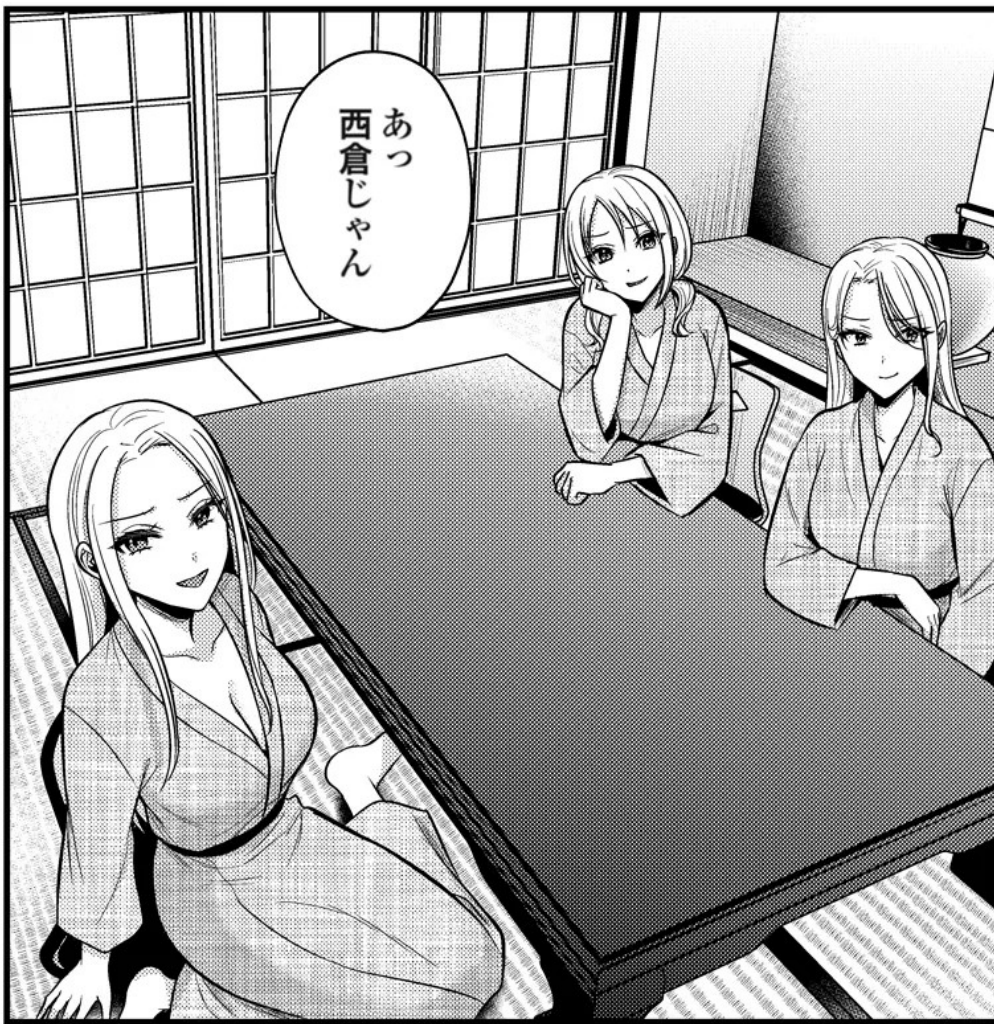
でも担当は  
引き続き  
俺がやります



西倉くん…









だから  
仕事の邪魔を  
しないでくれ

ムカ...

はあ?  
何それ

昔可愛がって  
やったのに  
なんだよその態度



そんな訳  
ないだろ  
俺は自分の仕事を  
まっとうしてる  
だけだ

俺はお前たちの  
ことを客としか  
見ていない



だったら  
あんたのこと  
クビにしてやるよ

ほらこんな風に  
食事にゴミが  
入ってたって  
クレーム入れてさ



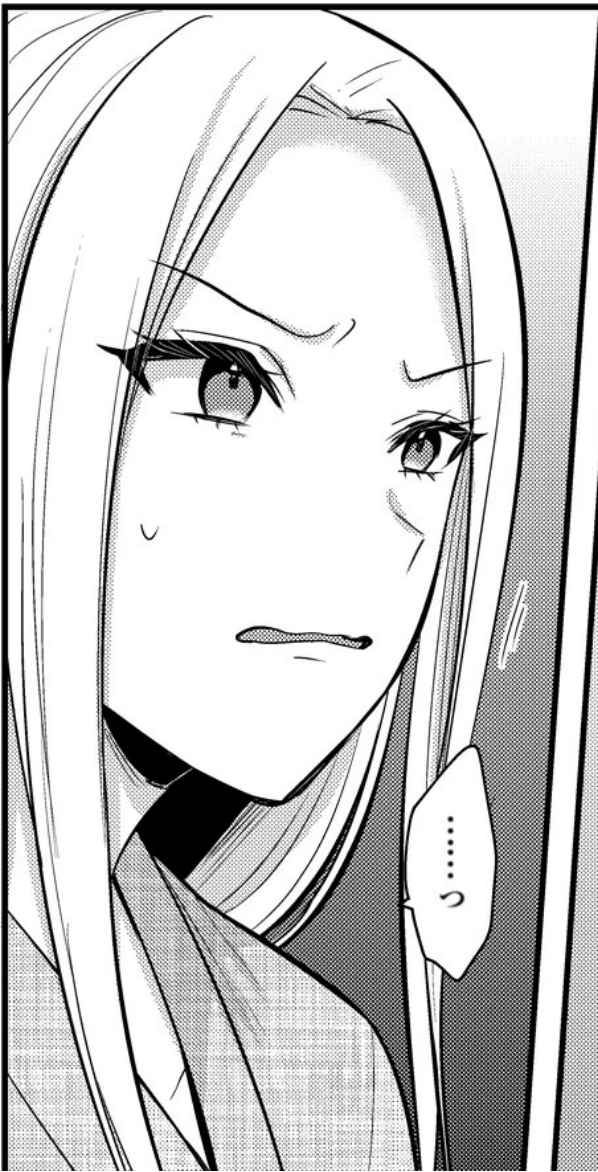
にや...  
...わかった

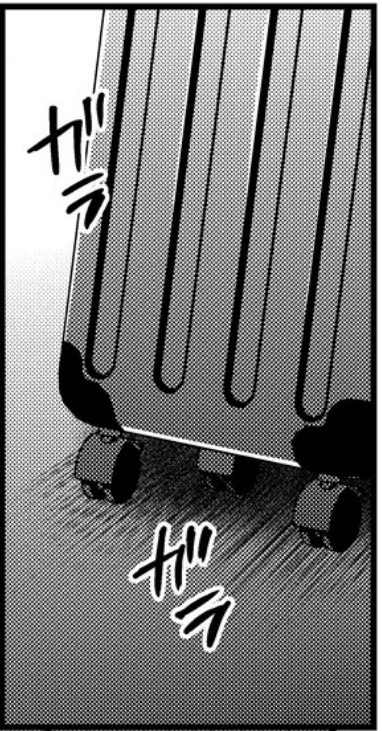
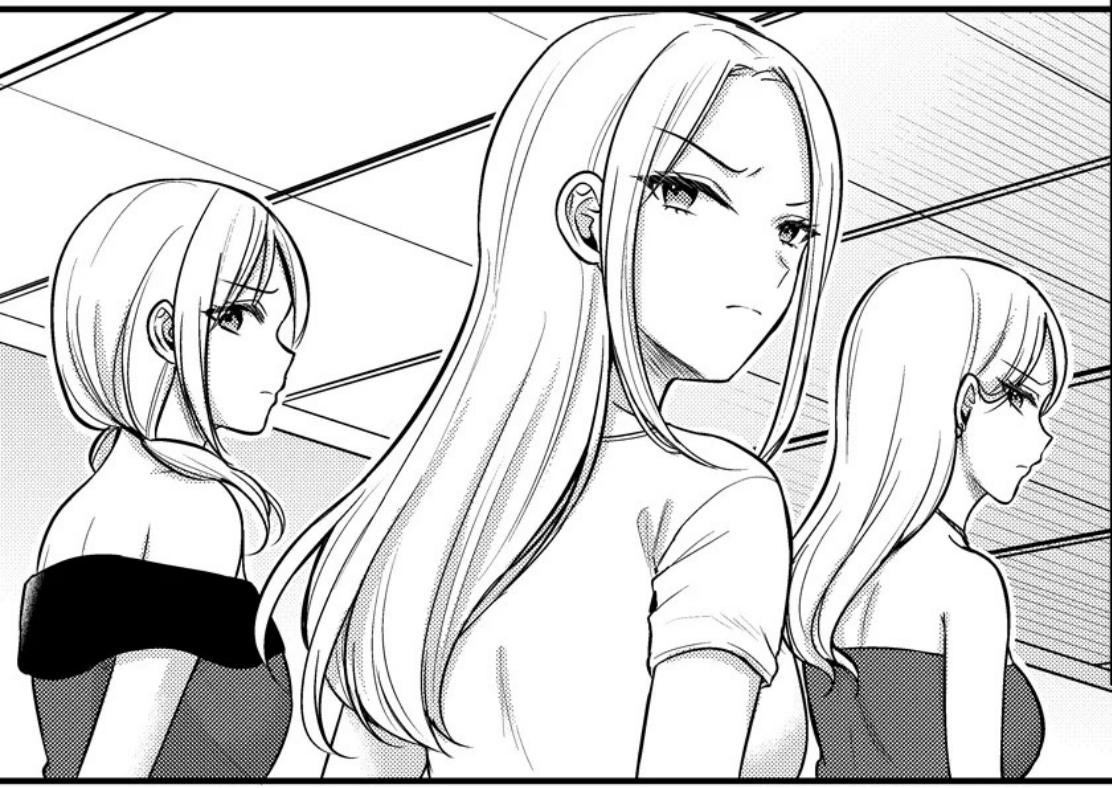
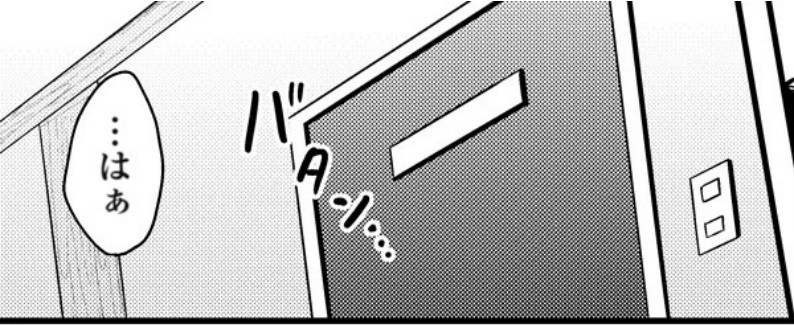


あんたどうせ  
あの女将と  
デキてるんでしょ?

だからあたしが  
触らせてやっても  
逃げ帰ったんだ

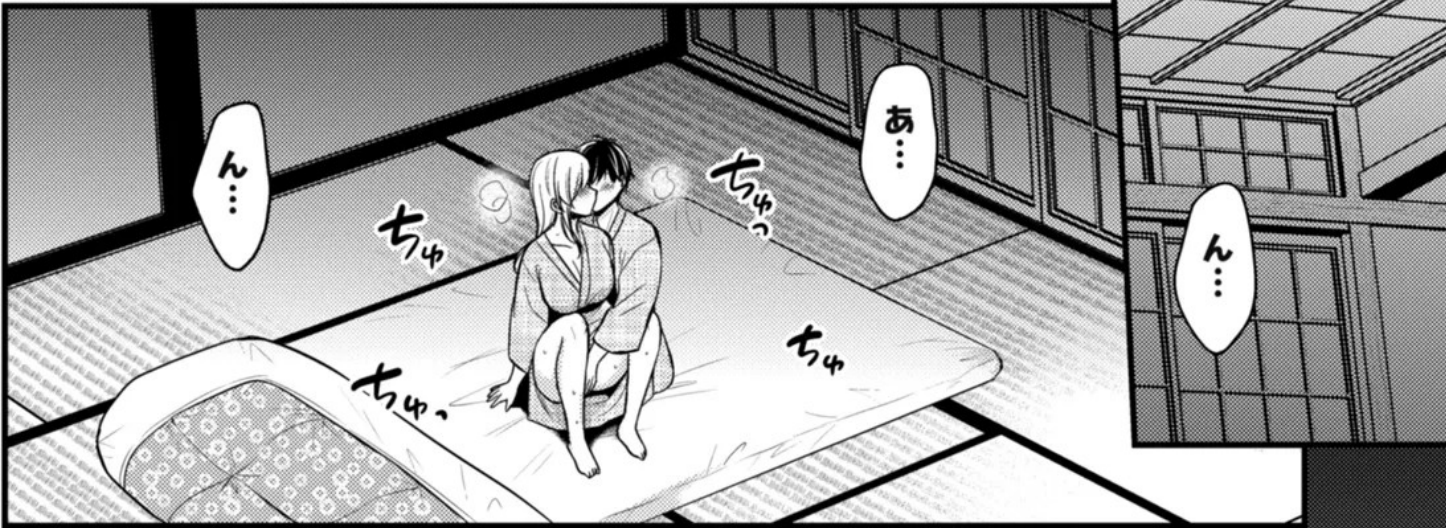
...っ!













…今日の  
西倉くん  
積極的だね

なんか気持ち  
軽くなった  
お陰っていうか…

嫌でしたか？

は…  
は…



ううん  
そんなこと  
ないよ

だって…

す…

はあ…

はあ…

はあ…

ドクン

ドクン

あたしも…  
もう我慢  
できないから…

早く…  
ちょうだい…？

…っ

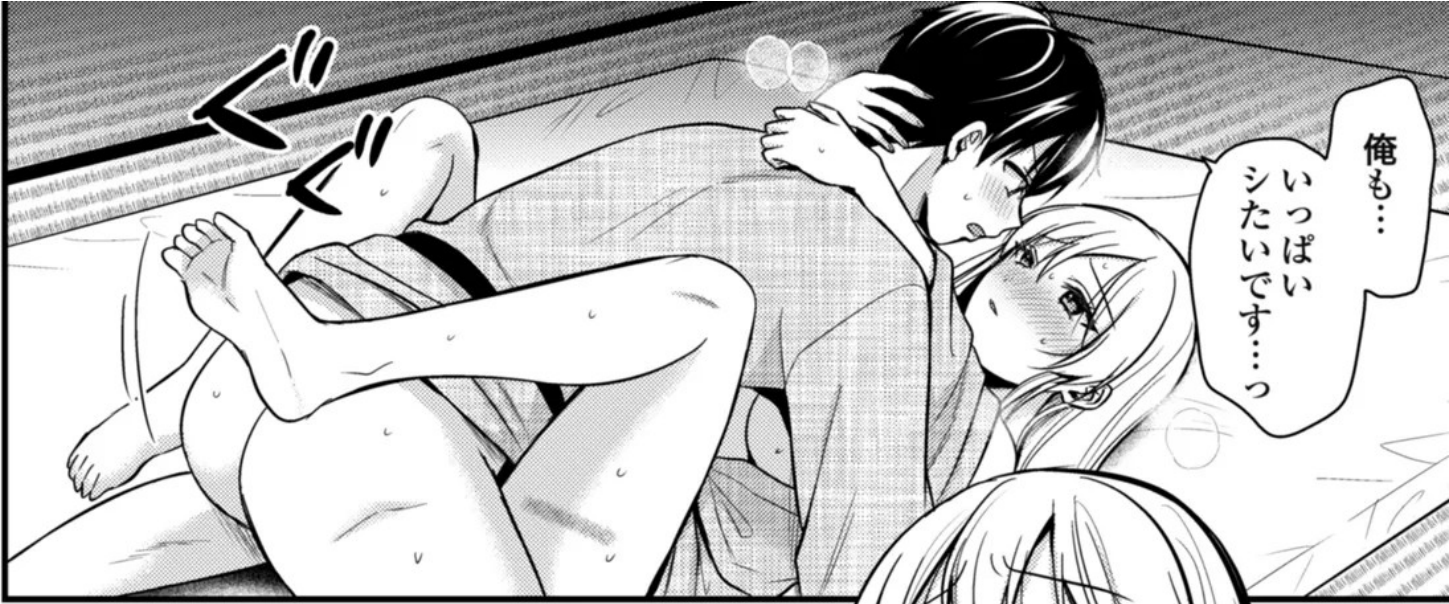
…っ











俺も…  
いっぱい  
シたいです…っ



気持ちいい…っ  
もっせお…っ♡

あ♡グッ  
そっ…っ

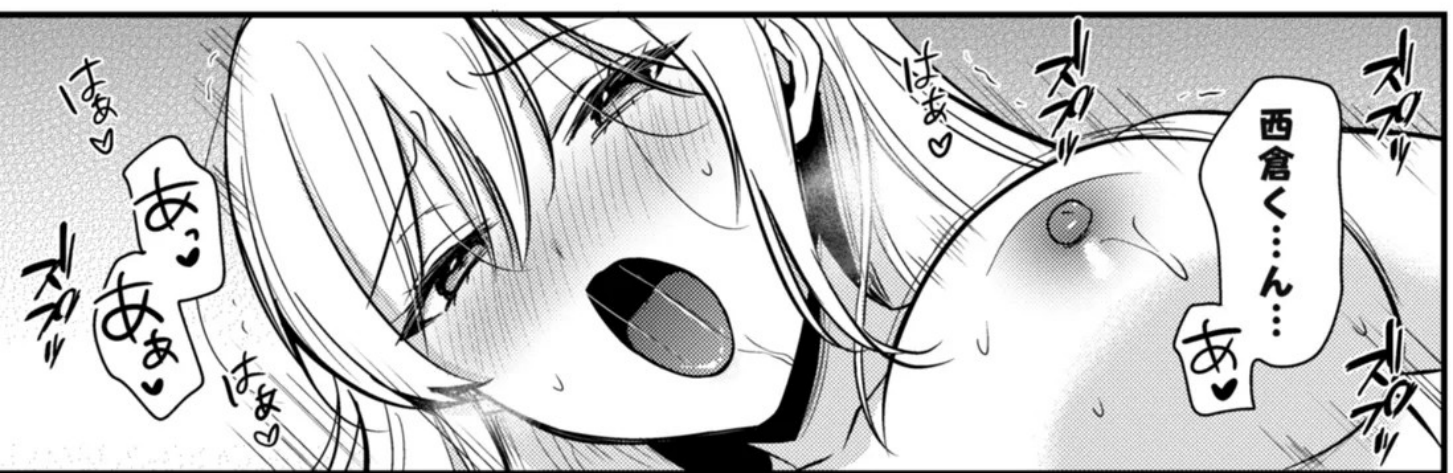






女将さん好きです...

はー  
あー  
好きです...



西倉く...ん...

はあ  
あ  
あ



あたしも...好きい...

ダメ...  
幸せすぎて  
おかしく  
なっちゃう...





月日は過ぎ  
俺の旅館での  
バイト生活は  
幕を閉じた…

そして…

お邪魔  
しまーす

ここが  
西倉くんの  
お家か  
都会っぽい♡

いっそ  
結婚を前提に  
同棲しちゃう？

そつそれは  
ちゃんと学校  
卒業してから…!!

女将さんとの  
都会での新たな  
生活が幕を開けた

ぎゅ♡

そうかな？

あーあ  
冬休みの間だけ  
なんて  
もったいない

ずっと一緒に  
いたいな

この作品はフィクションです。  
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を  
無断転載・複写・複製・配信  
送信（ホームページ上への転載を含む）  
アップロード・デジタル化することを禁止します。  
また本作品の内容を無断で改変・改ざんを  
行うことも禁止します。

forCS